

平成24年度決算に係る

定期監査調書

平成25年4月

農林水産部農林総合研究所

企画総務課

## 目次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1	頁
	(1) 指摘事項	1	頁
	(2) 監査意見	1	頁
	(3) 決算審査意見	1	頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1	頁
3	組織及び業務調べ	1	頁
4	職員の定員、現員調べ	1	頁
5	役付職員の調べ	2	頁
6	主な事業に関する調べ	3	頁
7	決算調書(総括表)	6	頁
8	事業別実施状況調べ	6	頁
9	予備費の充用調べ	6	頁
10	繰越関係調べ	6	頁
	(1) 継続費通欠繰越調べ	6	頁
	(2) 繰越明許費調べ	6	頁
	(3) 事故繰越調べ	6	頁
11	収入証紙取扱額調べ	6	頁
12	収入事務処理状況調べ	6	頁
	(1) 分担金及び負担金	6	頁
	(2) 使用料	6	頁
	(3) 手数料	6	頁
	(4) 財産収入	6	頁
	(5) 寄付金	6	頁
	(6) 諸収入	7	頁
	(7) 現金の取扱状況	7	頁
13	税外収入未済額調べ	7	頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	7	頁
15	税外収入不納欠損額調べ	7	頁
16	債務負担行為の状況調べ	7	頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	8	頁
	(1) 負担金	8	頁
	(2) 補助金	8	頁
	(2-2) 補助金(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	8	頁
	(3) 交付金	8	頁
	(4) 委託料	9	頁
	(4-2) 委託料(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	9	頁
18	工事請負費調べ	9	頁
18-2	工事請負費調べ(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	9	頁
19	財産に関する調べ	10	頁
	(1) 公有財産	10	頁
	(2) 金券類の受払状況	11	頁
	(3) 基金	11	頁
	(4) 債権	11	頁
20	財産の貸付及び使用許可調べ	12	頁
	(1) 土地及び建物	12	頁
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	12	頁
21	借受不動産明細調べ	12	頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12	頁
	(1) 職員住宅	12	頁
	(2) 職員駐車場	12	頁
23	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	12	頁
24	寄附物件の受納状況調べ	12	頁
25	備品の処分状況調べ	12	頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12	頁
27	貸付金等状況調べ	12	頁
	(1) 総括表	12	頁
	(2) 償還状況	12	頁
28	事業別予算執行状況調べ	13	頁
29	農業機械の管理状況	13	頁
30	生産物(品)に関する調べ	13	頁
31	試験研究調査事業別実施状況調べ	13	頁
○	意見、要望等	13	頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
(文書指摘) 6 普及指導事業について 農業団体のコスト削減の流れに伴い農家等への指導体制が縮小する中であって、農業改良普及員には、増加する新規就農者への指導や6次産業化の推進など、業務量の増加に加え、従来以上に多面的で高度な役割が求められています。 一方で、普及職員は減少の一途をたどっており、普及員の専門分化の中であって兼務も多く見られ、農業専門技術員についても農業経営や6次産業化の専任職員が配置されていない状況にあります。 ついては、適切かつ効率的に普及指導が行えるよう、市町村や農協等関係団体との連携や役割分担、人員の育成・配置のあり方等について早急に検証し、体制強化に向けた必要な見直しを行うべきであります。	普及指導事業の体制強化については以下のとおり対応する。 (1) 普及所内の体制整備 ①平成24年度から、新規就農や6次産業化支援の強化のため、各普及所内に総合支援班(担当)を新たに整備しているところであり、さらに成果が上がる活動とするため、体制強化に向けた見直しを引き続き行う。 (2) 普及員の資質向上促進 ①現場での適切かつ効率的な普及指導のためには、普及員個々の能力向上が必須であり、マーケティング、営農計画樹立、経営分析等の手法習得のための研修を強化する。 (3) 関係機関との連携強化 ①各普及所の普及指導計画は、管轄する農業者、市町村および農協等関係団体の要望を踏まえ策定されており、連携・分担関係を明確にすることをさらに徹底する。 ②がんばる地域プラン等を通じ、市町村等関係機関と連携し地域課題の解決に向けた取り組みを支援するとともに、農業振興を中心とした中山間地域の課題に対しても、積極的に取り組んでいく。

3 組織及び業務調べ

課 名	係(担当)名	課 の 主 な 所 掌 事 務
農林総合研究所 企画総務課	総務担当	(1)所の予算経理及び庶務に関すること (2)所の連絡調整に関すること
	評価・企画担当	(3)所の試験研究に係る評価・企画等の総合調整に関すること
	技術普及室	(4)農林業の専門技術の普及指導に関すること (5)農林業の普及指導事業に関すること (6)農業気象に関すること

4 職員の定員、現員調べ

(平成25年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	
定 員	7	9	13	13	0	1	20	23	
現 員	( ) 7	(1) 10	( ) 13	( ) 13	( ) 0	( ) 1	( ) 20	(1) 24	育児休業1名
過不足(△)	0	1	0	0	0	0	0	1	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 5 役付職員の調べ

(平成25年4月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
所長	下中 雅仁	1	0	
課長	三浦 昭博	2	0	
参事	佐古 勇	1	0	
課長補佐	古林 一久	2	0	
課長補佐	森田 一郎	1	0	出納員
参事	佐古 勇	1	0	
課長補佐	奥田 益春	0	0	
技術普及室長兼専技主幹	小林 勝志	1	0	
専技主幹	福永 八千代	3	0	
専技主幹	橋本 俊司	3	0	通算4年0月
専技主幹	福本 明彦	1	0	
専技主幹	河田 強	3	0	
専技主幹	岡本 英裕	2	0	
専技主幹	角脇 利彦	0	0	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概 要																				
先端的農林水産試験研究推進強化事業  決算(見込)額 4,656千円  (財源内訳) 一般財源 4,414千円 その他 242千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>① 農林水産部試験研究機関の試験研究課題について、多角的・客観的視点からの試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術等の確立を図ることを目的に、外部評価委員による評価を実施する。</p> <p>② 各試験場が研究開発した新技術や新品種について、知的財産権の取得の推進と活用を図る。</p> <p>③ 独立行政法人等の試験研究機関へ試験場研究員を派遣し、高度な先端技術の習得、資質向上を図る。</p> <p>④ 地域ニーズに即した試験研究を効率的・効果的に実施するため、鳥取大学・鳥取県産業技術センター・農林業団体他との農林水産業産学官技術会議の開催及び各試験場において実需者との試験課題検討会を開催するとともに、受託・共同研究を推進する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 外部評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員 11名 (学識経験者2名、流通・経済界1名、消費者代表2名、生産者代表6名)</li> <li>・評価の実施</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の種類</th> <th>対象の試験研究</th> <th>評価の着眼点</th> <th>課題数</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前評価</td> <td>新規に取り組もうとする課題</td> <td>研究の必要性</td> <td>10課題</td> <td>平成24年8月3日</td> </tr> <tr> <td>中間評価</td> <td>4年以上の研究の中間年のもの</td> <td>継続の妥当性</td> <td>10課題</td> <td>平成24年8月3日</td> </tr> <tr> <td>事後評価</td> <td>研究終了後3年を経過したもの</td> <td>成果の水準、効果、普及、活用</td> <td>(20課題)</td> <td>(平成25年1月28日)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価の結果は県ホームページで公表</p> <p>② 知的財産権の取得手続等(平成24年度分)</p> <p>1件の特許出願を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特許出願 畜産動物排泄物、畜産副産物等の脱臭装置</li> </ul> <p>③ 国の試験研究機関への研究員の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(独)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター：1名3ヶ月</li> <li>・(独)農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所：1名3ヶ月</li> <li>・(独)農業生物資源研究所：1名1ヶ月</li> <li>・(独)森林総合研究所：1名3ヶ月</li> </ul> <p>④ 農林水産業産学官技術会議・試験課題検討会の開催、受託・共同研究の推進</p> <p>試験研究の要望があった159件について、農林水産業産学官技術会議により対応する研究機関を決定し、実需者と研究内容等を検討した。</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価制度(平成20年度導入)について、要綱・要領の改正を行い、終期設定のない課題の中間評価も行うようにするなどして、評価制度の充実に努めた。</li> <li>・平成21年度に定めた「受託・共同研究の取り組みの方向性」に沿って、積極的に国や他県、大学等との試験研究を実施した。</li> </ul>	評価の種類	対象の試験研究	評価の着眼点	課題数	実施日	事前評価	新規に取り組もうとする課題	研究の必要性	10課題	平成24年8月3日	中間評価	4年以上の研究の中間年のもの	継続の妥当性	10課題	平成24年8月3日	事後評価	研究終了後3年を経過したもの	成果の水準、効果、普及、活用	(20課題)	(平成25年1月28日)
評価の種類	対象の試験研究	評価の着眼点	課題数	実施日																	
事前評価	新規に取り組もうとする課題	研究の必要性	10課題	平成24年8月3日																	
中間評価	4年以上の研究の中間年のもの	継続の妥当性	10課題	平成24年8月3日																	
事後評価	研究終了後3年を経過したもの	成果の水準、効果、普及、活用	(20課題)	(平成25年1月28日)																	

## ウ 成 果

### ① 外部評価の実施

外部評価委員の意見を反映して次年度予算要求内容をまとめるなどした。

### ② 知的財産権の取得等（平成24年度分）

以前に出願した特許2件が登録された。

#### ・特許登録 草刈機

非病原性のエルビニア属の新菌株、これを用いたイネ内穎褐変病の防除剤及び防除方法

#### ・廃止等

見直しの結果、1件の品種登録の更新を行わないこととした。

### ③ 国の試験研究機関への研究員の派遣

研究員の長期派遣研修により、本県試験場の機器等では対応困難な試験研究に取り組むとともに、技術取得、資質向上が図られた。

### ④ 農林水産業産学官技術会議・試験課題検討会の開催、受託・共同研究の推進

受託研究（7件）、共同研究（7件）を実施した。

## エ 課 題

- ・ 知的財産権の取得に向けての取り組みが低調になっている。農林業者に活用していただくとともに県の収入増にも繋がる特許発明や品種育成が行われるよう試験場への働きかけを強めること。
- ・ 農林水産業産学官技術会議での検討がより効果的となるように工夫して、現場での実践成果に繋がる実りある共同研究が推進されるように努めること。

6 主な事業に関する調べ

事業名	概 要																																																				
<p>農業改良普及指導活動費 決算(見込)額 20,757千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 8,068千円 一般財源 12,689千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン 11 もっとやらいや農林水産業 (4) 地域農業振興対策</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 鳥取県の農業を活性化させるため、協同農業普及事業の実施に関する方針に沿って、普及活動を展開すること。</p> <p>(イ)事業の実施状況 ○本県の活力ある農業の振興を図るため、 ・県内7か所の農業改良普及所に配置された改良普及員が、直接農業者に接して、農業技術や農業経営、農村生活の改善について、普及指導計画に沿って指導・支援を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">普及指導計画に基づく指導内容別課題数(7普及所・支所合計:全147課題)</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">1 担い手農業者等の経営発展(27)</td> <td style="width: 50%;">4 地域の特性にあった産地づくり(25)</td> </tr> <tr> <td>2 新たな担い手の育成及び確保(31)</td> <td>5 環境と調和した農業の推進(7)</td> </tr> <tr> <td>3 消費者ニーズに即した農畜産物等の安定生産(96)</td> <td>6 食の安全・安心の確保(3)</td> </tr> </table> <p>・農林総合研究所企画総務部技術普及室に配置された専門技術員が、野菜や果樹、病害虫などの専門項目について調査研究を行うとともに、改良普及員の活動支援と研修の計画・実施、試験研究機関との調整等を行った。</p> <p>・その他、普及指導活動に協力していただくために県が認定した指導農業士の活動促進や、外部評価会の開催、必要な機材の整備等を行った。</p> <p>○その他の事業として、 ・台風や大雪などの気象災害を防止・軽減するため、鳥取県農業気象協議会を運営し、気象災害に関する農業技術情報資料を作成・配布した。 ・農作業安全の啓発や事故調査をしていただくため、地域の精通者を農作業安全推進員として委嘱した(26人)。全県的に年2回(春、秋)の農作業安全運動をJA中央会と共催した。農作業安全緊急対策事業(9月補正)で事故防止対策についてパンフレットを作成(6万部)、県全域で座談会研修を実施中。 ・次代を担う子どもたちに本県農林水産業の概要を理解してもらうため、小学3～5年生を対象とした社会科読み物資料を作成(5,900部)、配布予定。</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成 果 (ア)ナシ新品種の栽培面積が順調に増加し、「なつひめ」「新甘泉」の販売実績も向上した。また、栽培技術が普及し糖度基準の合格率も大幅に向上した。</p> <p style="text-align: center;">ナシ新品種の導入面積(園芸試験場及び鳥取大学育成品種の合計:ha)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> <tr> <td>49.0</td> <td>69.1</td> <td>82.5</td> <td>91.3</td> <td>106.0</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※平成24年度は暫定値</p> <p style="text-align: center;">ナシ新品種「なつひめ」「新甘泉」の選果・販売実績(全農扱い)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">「なつひめ」</th> <th colspan="3">「新甘泉」</th> </tr> <tr> <th>出荷量 (t)</th> <th>販売金額 (千円)</th> <th>糖度基準 合格率(%)</th> <th>出荷量 (t)</th> <th>販売金額 (千円)</th> <th>糖度基準 合格率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年</td> <td>8.8</td> <td>4,769</td> <td>45.9</td> <td>34.7</td> <td>16,619</td> <td>62.5</td> </tr> <tr> <td>平成23年</td> <td>33.0</td> <td>11,053</td> <td>76.1</td> <td>68.7</td> <td>28,943</td> <td>73.1</td> </tr> <tr> <td>平成24年</td> <td>68.6</td> <td>25,520</td> <td>81.9</td> <td>133.2</td> <td>64,752</td> <td>86.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ)園芸施設の雪害対策研修会により、中部では約400本の補強用の竹が納入される等、各地で雪害対策が実施された。</p> <p>エ 課 題 農作業安全の意識啓発のため、農繁期にポスター、チラシにより生産者に呼びかけを行っているが、農作業事故による死亡者数は前年に比べ増加(3→7名)している。高齢者による事故が大部分(70才代以上57%)を占めており、生産現場へのきめ細かな安全啓発活動、技術指導の必要性が増大している。</p>	普及指導計画に基づく指導内容別課題数(7普及所・支所合計:全147課題)		1 担い手農業者等の経営発展(27)	4 地域の特性にあった産地づくり(25)	2 新たな担い手の育成及び確保(31)	5 環境と調和した農業の推進(7)	3 消費者ニーズに即した農畜産物等の安定生産(96)	6 食の安全・安心の確保(3)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	49.0	69.1	82.5	91.3	106.0		「なつひめ」			「新甘泉」			出荷量 (t)	販売金額 (千円)	糖度基準 合格率(%)	出荷量 (t)	販売金額 (千円)	糖度基準 合格率(%)	平成22年	8.8	4,769	45.9	34.7	16,619	62.5	平成23年	33.0	11,053	76.1	68.7	28,943	73.1	平成24年	68.6	25,520	81.9	133.2	64,752	86.2
普及指導計画に基づく指導内容別課題数(7普及所・支所合計:全147課題)																																																					
1 担い手農業者等の経営発展(27)	4 地域の特性にあった産地づくり(25)																																																				
2 新たな担い手の育成及び確保(31)	5 環境と調和した農業の推進(7)																																																				
3 消費者ニーズに即した農畜産物等の安定生産(96)	6 食の安全・安心の確保(3)																																																				
平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度																																																	
49.0	69.1	82.5	91.3	106.0																																																	
	「なつひめ」			「新甘泉」																																																	
	出荷量 (t)	販売金額 (千円)	糖度基準 合格率(%)	出荷量 (t)	販売金額 (千円)	糖度基準 合格率(%)																																															
平成22年	8.8	4,769	45.9	34.7	16,619	62.5																																															
平成23年	33.0	11,053	76.1	68.7	28,943	73.1																																															
平成24年	68.6	25,520	81.9	133.2	64,752	86.2																																															

- 7 決算調書（総括表） 「別途提出」
- 8 事業別実施状況調べ 「別途提出」
- 9 予備費の充用調べ 「別途提出」
- 10 繰越関係調べ 「別途提出」
- 11 収入証紙取扱額調べ 該当なし
- 12 収入事務処理状況調べ

- (1) 分担金及び負担金 該当なし
- (2) 使用料 該当なし
- (3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入

(単位：円)

収入目	科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
財産貸付収入	財産貸付収入		13	65,049	65,049	0	0		特許実施料等
		計(節)	13	65,049	65,049	0	0		
	計(節)		0	0	0	0	0		
目計			13	65,049	65,049	0	0		
合計									

- (5) 寄付金 該当なし



(6) 諸収入

(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
受託事業収入	農林水産研究高度化受託事業収入		1	1,900,000	1,900,000	0	0		
	農業・食品産業技術総合研究機構受託事業収入		2	600,000	600,000	0	0		
	計(節)		3	2,500,000	2,500,000	0	0		
雑収入	目	計	3	2,500,000	2,500,000	0	0		
	雑収入		0	0	0	0	0		
	目	計		0	0	0	0		
	合計			2,500,000	2,500,000	0	0		

(7) 現金の取扱状況

該当なし

13 税外収入未済額調べ

該当なし

14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ

該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

該当なし

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約、要綱等を 含む。)	備考
(農業総務費)	120,000	単 県	氷温協会特別会員 年会費	(社) 氷温協会	定額	H24. 5. 29	120,000	(社) 氷温協会定款 第6条 (会費規程)	
支出金額が10万円未 満のもの							0		
目 計							120,000		
(農業改良普及費)	252,000	単 県	普及情報ネット ワーク会費	(社) 全国農業改 良普及支援協会	定額	H24. 4. 17	252,000	普及情報サービシリ 用規程第6条の1②	
	400,000	単 県	全国農業改良普及 支援協会会費	(社) 全国農業改 良普及支援協会	都道府県均等割： 263,000円 普及指導員割分： 97,000円	H24. 8. 15	360,000	(社) 全国農業改良 普及支援協会定款第 9条	
支出金額が10万円未 満のもの							20,000		令達 中部農林局：10,000円 西部農林局：10,000円
目 計							632,000		
合 計							752,000		

(2) 補助金

① 国 補 分 該当なし

② 単 県 分 該当なし

(2-2) 補助金 (他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの) 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			人札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	支出の状況			備考	
				予定価格	契約期間			完了 年月日	支出 区分	支出 年月日		金額
					変更契約 (契約年月日)	契約 (契約年月日)						
(農業総務費)	単 県	黒ラッキョウの新 しい機能性成分 (ラキソゲニン) の分析委託	国立大学法人 鳥取大学	1,311,000	H24.7.13 ~ H25.2.28	(免除)	前	H24.8.3	1,311,000	地方自治法施 行令第167条 の2第1項第2 号		
予定価格が20万 円						随			25,200			
目計									1,336,200			
(農業改良普及費)												
予定価格が20万 円 未満のもの									882,000	令 運(農林局) 八頭: 15,000 中部: 762,500 西部: 43,500 日野: 61,000		
目計									882,000			
合計									2,218,200			

(4-2) 委託料 (他課から予算の配当替又は令達を受けて執行したもの)

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			人札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	支出の状況			備考	
				予定価格	契約期間			完了 年月日	支出 区分	支出 年月日		金額
					変更契約 (契約年月日)	契約 (契約年月日)						
(中小企業振興費)	単 県	畜産動物排泄物、 畜産副産物等の脱 臭装置の特許出願	渡辺国際特許 事務所	313,320	H24.6.22 ~ H24.7.31	(免除)	精	H24.7.20	313,320			
予定価格が20万 円						随			105,226			
目計									418,546			
合計									418,546			

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ (他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの) 該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし
- ウ 山林 該当なし
- エ 不動産売却等 該当なし
- オ 財産の交換 該当なし
- カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- キ 物件 該当なし
- ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

(ア) 異動状況

(平成24年12月31日現在)

区 分	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		増	減		
特 許 権	件 6	件 2	件 1	件 7	増 「草刈機」 「非病原性のエルビニア属の新菌株、これを用いたイネ内穎褐変病の防除剤及び防除方法」 減 「マルチ移植機のシート押圧装置」
合 計	6	2	1	7	

(イ) 出願及び登録の状況

区 分	名 称	出願日	登録日	活用の有無
	マルチシートの敷設方法及び装置	H10. 8. 6	H11. 9. 10	無
	リンゴ葉緑体シヤベロンαサブユニットのcDNA、リンゴ葉緑体シヤベロンαサブユニットのDNA、リンゴ及びリンゴ斑点落葉病に強いリンゴの診断法	H15. 2. 7	H22. 6. 25	無
	ハタケシメジの培地及びハタケシメジの栽培方法	H17. 12. 2	H23. 9. 16	有
	草刈機	H18. 11. 30	H24. 7. 13	無
	暗渠の洗浄方法	H19. 3. 22	H23. 12. 2	無
	イネ内穎褐変病の微生物防除剤および防除方法	H19. 3. 30	H24. 9. 28	無
	農業用ひざ当て	H19. 10. 12	出願中	有
	ウシ個体における枝肉重量を評価する遺伝子マーカー及びそれを用いた枝肉重量評価方法(CW-2)	H20. 3. 31	H23. 3. 11	無
	加工ラッキョウ、およびその処理方法	H20. 5. 30	出願中	有
	ナシ属植物の染色体の作出方法、およびナシ属植物の倍数体	H20. 10. 29	出願中	無
	尿汚水浄化装置およびその浄化方法	H20. 12. 17	出願中	無
	精液注入装置	H21. 3. 18	出願中	無
	受粉日マーカー	H22. 5. 27	出願中	無
	ショウロ子実体生産技術	H22. 10. 8	出願中	無
	ウシ個体における枝肉重量を評価する遺伝子マーカー及びそれを用いた枝肉重量及び体高評価方法(CW-3)	H23. 11. 17	出願中	無
	飛翔性害虫駆除装置	H24. 1. 27	出願中	無
	畜産動物排泄物、畜産副産物等の脱臭装置	H24. 6. 25	出願中	無
出願中	10件   登録   7件			
商 標 権	黒らっきょう	H21. 7. 21	H22. 3. 26	無
	大山ルビー(RB)	H22. 2. 18	H23. 1. 7	無
出願中	0件   登録   2件			

(ウ) 活用の状況

(単位：円)

権利・品種名	相手方	契約年月日	契約期間	実施料収入額	利用料の算定式	減免の有無
マルチ移植機のシート押圧装置	三菱農機(株)	H4. 9. 7	H4. 9. 7~ H25. 11. 4	35,377	契約書により実施料を算定	無
農業用ひざ当て	(株)カノン	H20. 1. 10	H20. 1. 10~ H25. 1. 9	0	販売単価×数量×1%×1.05	〃
加工ラッキョウ、およびその処理方法	鳥取いなば農業協同組合	H21. 9. 7	H21. 9. 7~ H25. 3. 31	4,663	〃	〃
	(株)ゼンヤクノ	H21. 9. 25	H21. 9. 25~ H25. 3. 31	937	〃	〃
	宝福一(有)	H21. 10. 9	H21. 10. 9~ H25. 3. 31	313	〃	〃
	(株)井中組	H22. 1. 7	H22. 1. 7~ H25. 3. 31	315	〃	〃
	橋本真一郎	H22. 2. 24	H22. 2. 24~ H25. 3. 31	0	〃	〃
キノコの培地及びキノコの栽培方法	日南振興(株)	H19. 4. 1	H19. 4. 1~ H25. 3. 31	0	〃	〃
	(株)エムズプラン	H19. 4. 1	H19. 4. 1~ H25. 3. 31	0	〃	〃

ケ 有価証券 該当なし

コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成24年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び 郵便はがき	円 39,110	円 152,000	円 118,520	円 72,590	
収入印紙	0	75,000	75,000	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシー クーポン券	0	0	0	0	
鉄道バス プリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	39,110	227,000	193,520	72,590	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

(3) 基 金 該当なし

(4) 債 権 該当なし

20 財産の貸付け及び使用許可調べ 該当なし

- (1) 土地及び建物 該当なし
- (2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの） 該当なし

21 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況			借受先 住所名	備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円)		
							単価	本年度の借料	
土地	宅地外	庁舎用地外	西伯郡大山町所子字西傍示541-6外	m <sup>2</sup> 952.30	有	H19.4.1 ~ H29.3.31	月額 ・年額 452,030	452,030	西伯郡大山町 御来屋328 大山町長森田増範
合計				952.30				452,030	

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

- (1) 職員住宅 該当なし
- (2) 職員駐車場  
ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積(m <sup>2</sup> )	貸付(使用)料(月額)(円)
行政財産	園芸試験場本場 (東伯郡北栄町由良宿2048)	12.5	1,000

イ 異動状況  
(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	うち減免	うち減免	うち減免					
	人	人	人	人	人	人	人	円		
4月	20					20	20	0		
5月	20					20	20	0		
6月	20					20	20	0		
7月	20					20	20	0		
8月	20					20	20	0		
9月	20					20	20	0		
10月	20			1	1	21	21	0		
11月	21					21	21	0		
12月	21					21	21	0		
1月										
2月										
3月										
合計								0	円 0	円 0

23 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし

24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

25 備品の処分状況調べ 該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

27 貸付金等状況調べ 該当なし

28 事業別予算執行状況調べ

目名	中小企業振興費	(平成24年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
県有知的財産マネジメント事業	県有知的財産の特許出願及び登録に要する経費	

29 農業機械の管理状況 該当なし

30 生産物(品)に関する調べ 該当なし

31 試験研究調査事業別実施状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 該当なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 該当なし